

令和6年2月20日

足立区立弥生小学校
校長 樋口直人 様

足立区立弥生小学校開かれた学校づくり協議会
会長 高田 一雄

令和5年度学校関係者評価書

1、自己評価全般について

令和5年度、新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類感染症になり、様々な制約が緩やかになる中で教育課程が実施されました。

このような中、本校は区学力調査の通過率が学校全体の2教科が区平均を上回ることでしたが通過率が83.1で区全体の83.8を0.7ポイント届きませんでした。令和4年度より低下したことには課題が残ります。

靴揃え・挨拶・廊下歩きに取り組んでいる児童の割合は高いが廊下歩きについては、さらに定着させてください。

今後、子どもに夢を与え誇りの持てる学校を目指し、学校・家庭・地域と連携し、児童の学力向上と基本的生活習慣の定着した品格のある児童の育成に努めてください。

体力・運動能力の調査で長座体前屈、ソフトボール投げのTスコアを高めてください。ソフトボール投げについては、正しい投球フォームを身につけさせ投力を向上させてください。正しく肘を使いより遠くにボールを、投げられるよう指導してください。

教員については、明るく教育熱心でチーム弥生として、まとまりがある学校運営ができています。若手教員や他地区から転入の中堅教員が、授業を「主体的・対話的で深い学び」とするために足立スタンダード型授業を理解し、授業力の向上に努めてください。

本校は、開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクール（以下開協型CS）の設置校で、学校や教育委員会と協働、協創し「地域とともにある学校」として活動しています。今後、協創力を推進し一層の活動をして行きます。学校・児童・保護者・開協型CSが、学力の向上と基本的生活習慣の達成に取り組むことで、児童達はルールを守りいじめのない良好な友達関係ができ、快適な学校生活を送ることができます。児童の挨拶力向上のために、挨拶名人の取り組みや放

課後子ども教室（以下ASY）のスタッフが挨拶を積極的に行っています。

「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底は、児童の生活リズム改善に不可欠です。幼児期からの生活習慣が大事で開かれた学校づくり協議会（以下開協）の幼保小中連携部会は、小1プロブレム対策の一環として、近隣の幼稚園・保育園等の年長組の保護者に9年間に亘りアンケートを取り、データ化しました。その成果を「小1プロブレム課題追究調査」と題し、開協の広報紙にも掲載し、保護者・近隣学校・地域・教育委員会等に配布しています。今後、得られた課題を分析し、より良い課題解決をしていきます。

2, 学校から提示された「課題」「保護者・地域への期待」について

重点的な取組事項—1（学力向上アクションプラン）

A 今年度の成果目標で「区学力調査の通過率が区平均を超える」は実施結果が通過率国語85.3%、算数80.5%でした。達成基準で区平均を上回るでは国語は1,6ポイント上回りました。算数は残念ながら3.0ポイント届かなかった。学校全体の2教科通過率は区平均を0,7ポイント届かなかったので課題が残ります。昨年度より全体的に低下し、一層の尽力を要します。

は、

B 目標実現に向けた取組みのアクションプランで

*「計算コンテスト」は●達成目標が2～6年のテスト結果80点以上の児童が8割以上とする。■実施結果が7月のテストで68%、12月では74.1%でした。

+「漢字テスト」は●達成目標が2～6年のテスト結果80点以上の児童がクラスの8割以上とする。■実施結果が9月では61.4%、1月では61.2%、でした。

*「AL（エーエル＝アダプティブ・ラーニング）タイム」は●達成目標が2～6年の5教科のALタイム実施が前期20回、後期から20回とする。■実施結果が実施回数は12月までに35回を超えました。全学級がタブレット端末を効果的に活用できるよう指導してください。

*「ステップアップタイム（朝学習）」は●達成目標が全学年年間90回とする。の国語で前期40回、後期12月までに25回以上実施する。

■実施結果が12月までの2年以上で、65回以上クリアしました。ステップアップタイムの時間を有効に活用して定着率を上げてください。今後に期待します。

*「読む力の向上」は●達成目標が国語の教科書音読実施、国語辞典の活用率8割とする。■実施結果は音読の回答は70.1%、読書の貸し出し冊数は12月現在13284冊で昨年度より115冊増えました。タブレットを使うようになり、図書館利用とのバランスを考える必要があります。今後の対応を検討してください。

重点的な取組事項一 2 (品格向上)

A 今年度の成果目標は児童の規範意識や帰属意識を培うことで、自己肯定感を高め品格ある態度や行動を身に付けた児童を育成する。の達成基準は児童アンケート(中・高学年対象)で、各項目にYESと回答する児童の割合を8割超えとする。この実施結果は児童アンケートで品格に関する5つの項目にYESと回答した児童が92.7%で規範意識や帰属意識は概ね定着しています。

B 目標実現に向けた取組み

●達成基準で「きまりを守っている」「学習に集中している」と回答する中・高学年児童の割合を8割以上にする。

■実施結果は児童アンケートで「きまりを守っている」割合は男女平均90.6%で「学習に集中している」は男女平均が93.3%と共に9割を超えました。全教員が同じ方向で指導できるよう、学年間や夕会等で意識を高めてください。今後に期待します。

●達成基準で「相手の嫌がることをしない」「友達の良いところを見つけている」と回答する中・高学年の児童の割合を8割以上にする。

■実施結果は「相手の嫌がることをしない」と回答した児童は90.6%で「友達の良いところを見つけている」は83.7%でした。3年男子は「友達の良いところを見つけている」が83.7%でした。心が育っていない児童に今後も指導を継続してください。

●達成基準で児童アンケートにより「三名人を心がけている」と回答をする中・高学年児童の割合を8割以上にする。

■実施結果は「挨拶・靴揃え・廊下歩きの三名人を心がけている」肯定群の児童は83.3%でした。廊下歩きが不十分なので、三名人取り組み期間中だけでなく常時取り組める指導を心がけてください。

重点的な取組事項— 3 (体力向上)

A 今年度の成果目標は体力・運動能力調査の体力合計点の伸長を目指して、多様な運動に取り組み、運動する楽しさを味わわせる。達成基準が今年度の体力調査の結果（体力合計点）で学年別男女別 12 集団の体力調査の結果が 8 項目すべて T スコアを上回り、児童アンケートで運動が楽しいと回答する中・高学年の割合を 8 割以上とする。

実施結果は測定 8 種目の T スコア（偏差値）において 8 種目中半分以上が、区平均を上回った集団は 12 集団中 9 集団でした。次年度も特に 1 年と 6 年の女子の体力向上対策を検討してください。

B 目標実現に向けた取組み

●達成基準が多様な運動に取り組み体力・運動能力を伸ばすは学年別男女別の 12 集団のうち、8 種目すべてが区の T スコアを超える。

■実施結果は区の T スコアを超えられなかった種目と集団数は、長座体前屈は 10 集団で突出して多かった。他にもソフトボール投げで 7 集団、で全体的に女子のスコアが低いようです。長座体前屈については体育の授業で、ストレッチを取り入れる対策を検討してください。ソフトボール投げについては、ミズノ投げ方教室を参考にして、各学年で取り組んでください。次年度も更に体力の向上に尽力してください。

●達成基準が友達と協力し合い、競い合って、運動する楽しさを味わう。児童アンケートで「体育（運動）が楽しい」と回答する児童を 8 割以上とする。

■実施結果は「体育は楽しい」と答えた児童の肯定群は 89.5% で「楽しくない」が 2.6% ありました。管理職による授業参観、授業改善を行い運動の楽しさを味わう授業の工夫をしてください。

●達成基準は「めあてをもって運動し、運動後に取り組んだことを振り返る」と児童アンケートで回答する児童の割合を 8 割以上にする。

■実施結果は「めあてをもって運動している」児童の割合が 95.5%、低学年から運動のめあてを持ち、取り組む指導をしてください。

3, その他

今年度は 5 類感染症への移行やインフルエンザに依る学級閉鎖があった中でも本校の教育は、授業時数を確保し実践されました。校長、副校長はじめ各教職員が児童のために最善の努力と行動で乗り越えて、現在も健全な授業を行っていることに敬意を表します。私たちは「開かれた学校づくり協議会」「開協型CS」で応援とバックアップに尽力していきます。

弥生小学校は開協型CS指定校です。法律に基づく学校運営協議会が設置されたコミュニティ・スクールです。区立小学校67校、中学校35校で開協型CS指定校は13校のみです。「学校運営協議会」には、学校運営の基本方針の承認・学校運営に関する意見・教職員の任用に関する意見・学校支援活動等の総合的な企画調整、学校関係者評価書の検討などの全体的な協議、調整などの機能があります。これらの機能を生かして、地域とともにある学校として活動しています。さらに、第四中学校の開協型CSと小中連携して多様な活動をしています。

学力向上と基本的な生活習慣を身に付けるには、学校教育力と家庭教育力が不可欠です。さらに、地域の教育力は重要です。開協型CSは、地域の有能な人材で運営されています。

ASY（放課後子ども教室）は児童の遊びを学校で見守っています。このスタッフは、地域の子どもたちの安全を第一に考えている人たちです。教育委員会からの方針を遵守し放課後の児童の見守り活動を継続しています。

家庭においては「学習のてびき」を上手に利用し、児童に家庭学習の習慣を身につけさせてください。

全教員が「チーム弥生」として働くことで、職員室は充実して行きます。児童を褒めて伸ばす教育を心掛けているので、児童も生き生きと学校生活を送っています。学力向上を目指し、足立スタンダード（主体的・対話的で深い学び）に基づいた授業を行うとともに、基礎・基本問題に取り組んで、児童の学力を高めることを期待します。

凡例

●達成目標・達成基準

■実施結果

